

明治より受け継ぐ小涌谷温泉の純日本旅館

神奈川県・箱根小涌谷温泉【三河屋旅館】

【記事投稿者：代表取締役 榎本孝弘】

当館のある箱根小涌谷温泉は明治以前は噴煙が上がる荒涼とした地形で、大地獄（大涌谷）に対し小地獄と呼ばれていましたが、明治6年明治天皇が宮ノ下へ行幸の折、地獄というのは不吉であるとの理由で小涌谷と改名されました。

当時荒涼とした荒地になっていたこの地で牧場を開こうと思っていた当館の初代が、裏山の噴煙から温泉が湧き出しているのを見つけ、明治16年に開業したのが私ども三河屋旅館です。現在の箱根17湯の一つ小涌谷温泉の歴史はこの時から始まりました。



大正時代には東京からツツジを移植し、約2万坪の蓬莱園という庭園を築きました。今では約3万株40数種のツツジ、サツキが植えられ、毎年大勢の観光客で賑わっており、近くには地下水のしみ出る千条（ちすじ）の滝があり、みわたせば浅間山と早雲山の稜線が美しく、幽玄な景色を味わうことができます。また、当館には画家の竹久夢二や中国革命の父・孫文、歌人の与謝野鉄幹・晶子夫妻、作家の田山花袋も逗留され、現在でも日本の方はもとより海外からのお客様が日本の情緒を求めてお越しになっています。

私どもはこれからもこの 120 余年の自家源泉の宿としての歴史を大切に、日本旅館の良さを大切に守りながら、日本のお客様だけでなく海外のお客様にも日本文化を紹介できるような宿として営業していきたいと思い、わが館のインターネットホームページには邦文以外に英語、中国語、韓国語のページを掲載しております。



神奈川県・箱根小涌谷温泉

三河屋旅館

〒250-0406

神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷 503

TEL : 0460-82-2231

FAX : 0460-82-5064